

カラス対策について

現状

- 市内パッカー車で燃やすゴミ収集地域において近隣の方々とゴミステーション方式で出されている地域でカラスによる散らかし被害がでている
- 地域により差があるが生ゴミを狙って早朝の時間帯での被害が多い
- 前日夜からのゴミ出しやカラス対策の不十分さで散らかったごみを近隣住民の方々が清掃作業を奉仕的に行っている
- カラスの繁殖時期に卵やヒナを守るため人を威嚇し攻撃する事案が発生している



対策

- 自治会や私費でのカラス除けネットを用意しゴミを覆う形での対策
- 道路幅のある所では金網等で囲われた折り畳み式 BOX を設置
- 自治会によるゴミ出し時間の徹底
- ごみの中身が見えないようにする工夫(袋を二重にする等)
- 市が啓発としてカラス被害対策ガイドブックを作成し配布している
- カラスの捕獲放鳥や鷹での追っ払いを試行的に実施
- 再三の要請により県が本格的な対策と対処を検討するとの回答を出す。(今年8月)



他市の取り組み

- 生体個数の実態把握・罠での捕獲
- 深夜・早朝収集
- ポリバケツの貸与・折り畳み式ゴミ集積所ケースの開発使用
- ゴミ有料化・戸別収集

課題

- 鳥獣保護法で保護されている野鳥に対して捕獲・駆除を簡単にできない
- ゴミ出しマナーの違反者への対処
- 各市バラバラな対応でなくより広域的な根本的対策が必要